

交付金の使途・実施体制【デジタルを活用した観光周遊による地域活性化事業】

■ 交付金の使途	<p><事業内容></p> <p>①デジタルサイネージコンテンツ作成及び設置工事 道の駅知床・らうすに多言語対応したデジタルサイネージを設置し、観光情報や施設情報等のコンテンツを配信し、情報接点を持たせることで、日計画行動を促し、観光周遊を通じた地域事業の活性化及び関係人口の増加を促進する。</p> <p>②多言語翻訳機導入事業 多言語翻訳機を導入し、デジタルを活用したインバウンドの受入環境の整備を促進するとともに、町内及び広域的な災害に備え、災害、避難所情報などの情報の伝達手段の多様化を図る。</p> <p><支出方法> 工事請負費：27,628,000円(デジタルサイネージ25,872,000円、多言語翻訳機2,056,000円) (表示灯株式会社)</p>
■ 実施体制	<pre>graph LR; A[羅臼町] -- "公募型プロポーザルによる事業者選定 工事請負契約の締結" --> B[表示灯株式会社]; C[外部評価 羅臼町総合計画評価委員会];</pre> <p>羅臼町</p> <p>表示灯株式会社</p> <p>外部評価 羅臼町総合計画評価委員会</p> <p>公募型プロポーザルによる事業者選定 工事請負契約の締結</p>